

「町内のみなさん、おはようございます。日本共産党庄原市議会議員の藤木くにあきでございます。日頃よりあたたかいご支援をいただき、本当にありがとうございます。この場をお借りしまして、後期高齢者医療の問題について、日本共産党の、お話をさせていただきます。

さて、みなさん。今年4月から、お年寄りの医療が、大幅に改悪されました。自民党・公明党が、一昨年強行採決した、制度改悪によるものです。

第一は、75歳以上を対象にした、「後期高齢者医療制度」という、新しい医療保険を始めたことです。75歳以上の、お年寄りの全員が、加入を義務づけられ、これまで、子どもの扶養家族になっていて、保険料を払う必要のなかった、約2百万人の方にも、今後は、保険料の支払いが、義務づけられます。庄原市の保険料は、年平均約4万1千円です。しかも、今後、2年ごとに、保険料が改定され、高齢者の医療費が増えれば、保険料も、際限なく値上がりするしくみになっています。

第二に、65歳以上74歳までの国保加入者のみの世帯と、75歳以上のお年寄りは、保険料が、年金から天引きされることです。

第三に、収入がなくて、保険料が払えないお年寄りの保険証を取り上げることが義務づけられたことです。第四に、75歳以上の方は、生活習慣の改善は無理だとして、健康診断の実施義務の対象外にされたことです。

第五に、70歳から74歳までのお年寄りは、来年から、医療費の窓口負担が、現在の1割から、2割に増えることです。

「町内のみなさん。誰でも、年をとれば、色々な病気が出てきます。そうしたなか、これまで社会に貢献してこられたお年寄りの方に、平気で、負担を強いるというのが、今の、自民党・公明党政治のやり方ではないでしょうか。

日本共産党は、高齢者を差別する、このような医療制度を、一刻も早く廃止するため、みなさんと力をあわせ、全力でとりくんでまいります。

今こそ、みんなで、力をあわせ、高齢者を差別するなど、大きな声を、上げていくではありませんか。そして、来るべき総選挙で、自民党、公明党に、国民の審判を下そうではありませんか。

さて、みなさん。医療費の負担の軽減や、年金の充実を訴えると、自民党、公明党はもちろん、民主党までも、「財源がない」と聞き直り、消費税の値上げの議論に入ります。しかし、88年に消費税が導入されて以来、私たちが、納めた消費税の総額は、約88兆円。同じ期間に、法人税の減税は、約60兆円です。私たちが、納めた、消費税の大部分は、大企業の減税の、穴埋めになっているだけで、福祉や医療に使われているわけでは、決してありません。

資本金10億円以上の大企業は、今、史上空前の大儲けを上げています。ところが、国に払う税金は、減税、減税の連続で、かつての、3割も少なくなっています。「大企業は儲けに応じた税金の負担を」、「この、当然の声を、今こそ、大きく、よく、していくのではありませんか。

もう一つは、ムダ使いをやめさせることです。「聖域」扱いで、税金が、バラバラに使われてるのが、軍事費です。例えば戦車や軍艦。し連に備えるという理由で、計画し、し連が崩壊して、必要なくなったにもかかわらず、造り続けて、1兆円ものムダ使いをしています。米軍の再編に3兆円。在日米軍への、「思いやり予算」年間2千5百億円、というものもあります。

「町内のみなさん。大企業に、応分の負担を求め、軍事費のムダ使いに、しっかりメスを入れれば、医療や年金など、社会保障の財源をまかなうことは、十分可能です。消費税増税の必要は、まったくありません。

この道こそが、昨年の参議院選挙で「ノー」の審判を下した、自民党・公明党政治に代わる、新しい、政治の方向ではないでしょうか。日本共産党は、その実現へ、みなさんと力を合わせ、全力をつくしてまいります。そのためにも、新しい政治の進路を指し示す、「しんぶん赤旗」のご購読と、日本共産党への、大きなご支援を、心から、お願いいたします。お話しさせていただきます。ご静聴いただき誠にありがとうございます。ございました。ごいざ、よろしくお願いたします。